

令和 6 年度

北栄町教育委員会
事務管理及び執行状況点検評価報告書

令和 7 年 7 月

目 次

はじめに	1
I 令和 6 年度北栄町教育委員会の活動状況	2
1 教育長及び教育委員	2
2 教育委員会議の開催状況	2
3 点検評価及び今後の方向性	3
II 教育委員の活動	3
1 学校等計画訪問	3
2 教育委員の行政視察・調査及び研修等	3
3 教育委員会（こども園・学校）主催会議・行事への参加	4
4 点検評価及び今後の方向性	4
III 令和 6 年度北栄町教育委員会事業の評価について	5
1 評価の方法	5
2 基本目標、基本施策と事業名	6
3 評価結果と意見等	9
IV 委員及び活動の詳細	27
1 教員委員・教育長	27
2 教育委員会等の会議の詳細	27

はじめに

令和 6 年度における教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめました。

点検評価の具体的な方法は、教育委員会と教育委員会事務局が行った事務（教育委員会が点検・執行を教育長に委任する事務）と大きく 2 つに分け、それぞれについて点検評価を行いました。

教育委員及び教育委員会が行った活動・事務については、主に教育委員会議の概要及び教育委員の活動について、その内容を記述し、点検評価を行うとともに今後の方向性についても記載しました。

教育委員会事務局が行った事務については、北栄町教育大綱の基本目標、基本施策の体系に基づき、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく施策ごとにまとめ、今後の課題と方向性についても記載しました。

また、「教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用」については、外部評価者から、点検評価に対する意見をいただきました。

北栄町教育委員会は、今後もこのような活動・事務に対する点検評価を行い、議会への提出や公表を通じて、教育委員会の活動を町民にわかりやすく説明していくとともに、教育行政における地域住民の意向のより一層の反映と保育・教育、スポーツ及び文化の振興に関する施策の総合的な推進に取り組んで参ります。

令和 7 年 7 月

北栄町教育委員会

I 令和6年度北栄町教育委員会の活動状況

1 教育長及び教育委員 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

氏 名	任 期	役 職
笠見 隆志	R5年4月2日～R9年3月31日(2期)	教育長
徳岡 幸裕	H29年11月15日～R7年11月14日(2期)	教育長職務代理者
竹信 純一	H30年4月1日～R6年11月14日(2期)	委員
岡崎しづみ	R4年11月15日～R8年11月14日(1期)	委員
津島 望	R5年11月15日～R9年11月14日(1期)	委員
西川 健治	R6年11月15日～R10年11月14日(1期)	委員

2 教育委員会議の開催状況

(1) 開催回数

定例会議 12回(原則として毎月第4火曜日開催)

臨時会議 2回(3月(2回)開催)

(2) 付議件数

区分	内容	件数
議案	規則等に関する事	14件
	議会の議決を経るべき議案に関する事	3件
	人事に関する事	4件
	委員の委嘱等に関する事	15件
	その他	13件
協議		10件

(3) 運営上の工夫

①資料の事前配布

事前に内容についての検討等の準備を行うために、可能な限り会議開催日の3日前までに議案書や資料等を送付しました。

②公開

会議は、人事に関することや、個人情報を含む案件等の一部の非公開案件を除き、原則、すべて公開で行いました。会議終了後、会議録については北栄町教育委員会のホームページにおいて公開しました。

3 点検評価及び今後の方向性

毎月1回の定例会議と必要に応じて開催する臨時会議を開催しました。会議開催3日前までに資料を配布することにより、事前に審議内容について深く吟味しました。各委員とも高い関心と意識を持って、それぞれの専門的見地から議論を行いました。

会議の公開、ホームページでの会議録等の公開等により、町に開かれた教育委員会の実現に取り組みました。また、会議の内容として、議案、報告のみならず、現在の教育課題や住民の教育に対する意見等を取り上げながら議論を深めていきました。

今後もより一層、教育委員は、教育行政の運営について負う重要な責任を常に自覚し、職務の遂行を行わなければならないと考えています。

II 教育委員の活動

1 学校等計画訪問

(1) 概要

学校現場の実態把握と学校の運営状況について把握するため、教育委員のほか、事務局の各職員が揃って訪問しました。

こども園、小学校、中学校とも年2回（前期：5・6月、後期：10・11月）行いました。

(2) 教育委員の訪問内容

- ・園長、校長等からの園、学校の概要説明聞き取り
園、学校評価に基づく、園、学校の課題と具体的な取り組み等について
- ・保育、授業参観
- ・職員との意見交換と指導、助言等

2 教育委員の行政視察・調査及び研修等

(1) 先進地視察

目的 先進的な取り組みを今後の教育施策の参考とするため

視察先と視察内容

鴨方西小学校（岡山県浅口市） コミュニティスクールの取り組み
について

(2) 大会・研修会等

- ・鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会、研究大会
- ・東伯地区教育委員会連絡協議会総会
- ・東伯地区、倉吉市教育委員会合同研修会
- ・市町村教育委員会委員研修会

3 教育委員会（こども園・学校）主催会議・行事への参加

- ・いじめをなくそうサミット
- ・こども園卒園式
- ・小学校、中学校の入学式及び卒業式
- ・各種園、学校行事、各種スポーツ大会

4 点検評価及び今後の方向性

計画訪問については、こども園（4園）、小学校（2校）、中学校（2校）において、前・後期の各2回実施しました。各学校の運営方針、活動状況に加え、施設、教育環境の把握、授業の参観等、さまざまな視点から幼児や児童生徒、教育現場の状況の把握を行い、先生方が子どものためにより一層力が発揮できるよう、学校・園の支援に努めました。

教育委員会が開催する会議や教育関係の各種行事への積極的な参加を通じ、は、幅広い情報収集を行いました。また、各種研修会にも参加し、教育委員としての自己研鑽に努めました。

今後も、視察や研修の成果を施策に還元し、教育行政の更なる発展を図り、また、学校・園による教育連絡会やPTA、議会等との意見交換を通して、幅広く意見を聴取することにも取り組んでいきます。

Ⅲ 令和 6 年度北栄町教育委員会事業の評価について

1 評価の方法

(1) 4 段階評価

事務管理及び執行状況については、令和 6 年度北栄町教育委員会施策の体系に基づいた 20 施策、82 の実施事業について、次の 4 段階で評価を実施しました。(事業終了した 5 事業は評価無し)

評価	達成状況
A	目標を超えて達成
B	ほぼ目標どおり
C	取り組みはあるが、達成が不十分
D	取り組み、達成とも不十分

(2) 内部評価

内部評価は、令和 6 年度北栄町教育委員会施策の体系に基づいた 82 の事業について、事務局が 4 段階評価で自己評価を行いました。

(3) 教育委員会評価

教育委員会評価は、内部評価・外部評価の結果をもとに、20 基本施策について教育委員が評価を行いました。

(4) 外部評価

外部評価は、令和 6 年度北栄町教育委員会施策の体系に基づいた 82 の事業から選択した 10 事業について、以下の外部評価委員が 4 段階で評価を行いました。

【外部評価委員】(敬称略)

野津 伸治(鳥取短期大学教授)

西村 文伸(地域代表)

福光 悦子(保護者代表)

【外部評価委員会の開催】

①令和 6 年 7 月 5 日

・外部評価 10 事業の選定

②令和 6 年 11 月 14 日

・外部評価対象 10 事業の中間評価

③令和 7 年 3 月 19 日

・外部評価対象 10 事業の最終評価

結果 A:1 事業、B:6 事業、C:3 事業、D:0 事業

2 基本目標、基本施策と事業名

基本目標	基本施策	事業名
子育てなら 北栄町	①すこやかな発育支援	1 ネウボラ事業（※利用者支援事業含む）
		2 発達支援体制整備事業（職員の研修）
		3 発達支援体制整備事業（発達相談、ペアトレ実施）
		4 子育て支援短期利用事業、産前産後サポート事業、産後ケア事業
		5 木育推進事業(R5 事業終了)
		6 1歳児すくすく教室事業
	②未就園乳幼児への支援	7 子育て総務事業（一時預かり事業）
		8 地域子育て支援拠点事業
		9 ファミリー・サポート・センター事業
	③幼児教育・保育の充実	10 発達支援体制整備事業（職員の研修）
		11 こども園管理運営事業（施設・設備の整備）
		12 こども園ICT化事業
		13 魅力ある園づくり推進事業(R5 事業終了)
	④子育て家庭の支援	14 放課後児童クラブ委託事業、放課後児童クラブ施設管理事業
		15 在宅育児支援事業
		16 乳幼児健康支援一時預かり事業
		17 休日保育事業
	⑤地域社会で関わる子育て支援	18 こども園管理運営事業（北栄町同日公開参観日）
		19 親育ち事業
教育なら北 栄町	①確かな学力を育む教育の推進	20 事務局関係負担金事業（少人数学級）
		21 教育力向上事業（学び力向上アクション週間の取り組み）
		22 教育力向上事業（授業研究事業（講師招へい、視察））
		23 教育力向上事業（学力検査の実施）
		24 GIGA スクール構想整備事業
		25 教育力向上事業（サマースクール）
		26 高校生等通学費助成事業
	②豊かな心と社会性を育む教育の推進	27 職場体験学習（ワクワク北条、ワクワク大栄）
		28 教育力向上事業（いじめ対策事業）
		29 中学校管理事業（中学校での心の教室相談事業）
		30 教育力向上事業（生き方を学ぶ講演会）

基本目標	基本施策	事業名
		31 教育力向上事業（特色ある学校づくり推進事業） （R5 事業終了）
		32 教育力向上事業（より良い学校生活を送るための ハイパーQU 調査）
		33 学校支援地域事業（SSW の活用）
		34 フリースクール利用料軽減事業
	③健やかな体を育てる教育の 充実	35 給食費事業（食育推進、地産地消の推進）
		36 中学校管理事業（部活動推進事業）
	④保・こ・小・中・高連携の充 実	37 教育力向上事業（向ヶ丘レインボープラン・ドリ ームプロジェクトX）
	⑤特別支援教育の充実	38 幼児通級指導教室設置事業
		39 言語通級指導教室事業・発達通級指導教室事業
	⑥グローバル化に対応できる 教育の推進	40 小学校教育外国語教育活動事業
		41 外国青年招致事業（ALT、外国語講師の活用）
		42 教育力向上事業（イングリッシュスクール、英検 助成）
	⑦家庭と地域で育む教育の推 進	43 コミュニティスクール推進体制構築事業
		44 教育力向上事業（地域でこどもを育てる体験活動）
		45 事務局事業（北栄町同日公開参観日）
		46 社会教育推進事業（家庭教育 12 か条）
		47 子どもほくえい塾事業
	⑧安全で快適な教育施設の整 備	48 小中学校管理事業（大規模改造・長寿命化改修）
住み続ける なら北栄町	①人権を尊重するまちづくり の推進	49 人権啓発活動事業
		50 児童館運営事業
		51 人権を学ぶ会事業
		52 人権学習会事業
		53 隣保館運営事業
	②安心で活力ある地域づくり の推進	54 通学路安全対策事業
		55 児童自転車用ヘルメット着用推進事業（R5 事業終 了）
	③青少年の健全育成の推進	56 通学合宿事業（R5 事業終了）
		57 青少年育成町民会議交付金事業
		58 成人式事業
	④親しみのもてる生涯学習の 推進	59 社会教育団体活動費補助金事業
		60 社会教育推進事業（出前講座・おとなほくえい塾）

基本目標	基本施策	事業名
		61 公民館運営事業
		62 公民館講座事業
		63 ほくえい未来ラボ事業
		64 展示・鑑賞・発表経費事業
		65 成果還元活動事業
	⑤スポーツ・文化活動の推進	66 保健体育振興事業（スポーツ県外派遣費補助事業）
		67 ウオーキングのまち北栄町推進事業
		68 北栄スポーツクラブ事業
		69 訪問型ニュースポーツ体験事業
		70 すいか・ながいも健康マラソン大会事業
		71 青少年劇場巡回公演委託事業
		72 芸術文化活動促進事業
		73 北栄文化回廊事業
		74 文化財保護対策事業（民俗芸能伝承事業）
		75 北栄文芸編集・発刊事業
		76 民芸実習館事業
		77 町文化団体協議会補助金事業
	⑥暮らしに役立つ図書館づくりの推進	78 図書館運営事業
		79 図書館運営事業（図書館講座・教室事業）
		80 図書館魅力化事業
		81 絵本でつながるまちづくり事業
	⑦地域を学び、まちを支える人づくりの推進	82 地域副読本作成活用事業
		83 歴史民俗資料館（北栄みらい伝承館）展示事業
		84 文化財保護対策事業
		85 町内遺跡発掘調査事業
		86 ウオーキングのまち北栄町推進事業（歴史探訪ウォーク）
		87 中学校教育振興事業（中学生と町長が語る会）

3 評価結果と意見等

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント (○) 教育委員のコメント (◇)	成果や課題、今後の方向性 ※ (事業番号)
		事務局	委員会	外部		
子①1	ネウボラ事業 (※利用者支援事業含む)	B	B		◇目標通り ◇各事業とも目標に沿った成果・効果が出されており良い。 ◇すすく教室の参加率は今回も低い。参加者の少ない事業は需要が無いと捉え、積極的休止も検討すべき。 ◇どの事業も概ね目標値に達している。 ◇ネウボラ事業はその後の子育て支援に繋がる大事な事業で問題点に挙がっていた妊婦後期への対応があったが99%の結果は例年と比較して良かった。 ◇(2)目標値を下回った項目はないがAでないのはなぜか。 ◇(4)利用者数は延べ人数での目標値なのか。 ◇(6)実績数値がおかしい。 ◇育児困りごと等、対象者にアンケートし、そこから個別具体的な支援が実施され効果が上がっている。子育て不安解消に向けてのフォロー体制を切れ目なく継続的な支援が重要。	・ (1) 母子手帳交付時や訪問時等に、相談窓口だけでなく遠慮なく相談してよいことを伝える。 ・ (3) 園や支援センターへのチラシ掲示、園の担当者会での周知を実施する。 ・ (4) 支援が必要な家庭へ、事業の周知や利用勧奨を行っていく。 ・ (6) 第1子や支援センター未利用家庭へ教室の参加勧奨をする。/子育て支援センター事業「はじめましての日」の参加勧奨をし、低月齢時から子育て支援センター利用してもらう。
子①2	発達支援体制整備事業 (職員の研修)	B				
子①3	発達支援体制整備事業 (発達相談、ペアトレ実施)	B				
子①4	子育て支援短期利用事業、産前産後サポート事業、産後ケア事業	B				
子①5	木育推進事業 (R5 事業終了)	—				
子①6	1歳児すすく教室事業	B				
子②7	子育て総務事業 (一時預かり事業)	B	B		○事業の目的である子育ての不安感、孤立化の緩和、加え子どもの健やかな育ちに	・ (7) 直前の利用申込の場合で断ることが少なくなるよう、できるだけ早めに申し込んでいただくことの周知を行う。
子②8	地域子育て支援拠点事業	B		B		

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
子②9	ファミリー・サポート・センター事業	B			対し実績は目標を達成しているが、利用者数、利用家庭が対前年減している。 ○子育て世代の主たる情報源であるSNSの発信を拡充してはどうか。 ○こども園との情報共有の連携はとても大切である。 ○アンケートの結果は大切な評価である。 ○アンケートで求められる講座が次年度に繋がるのが期待できる。 ◇多様なニーズに対応できている。 ◇一時預かり事業とファミサポ事業は実績が目標を大きく上回っているので良い。実績が目標を上回る事業は、適切な目標値への変更を求める。 ◇保護者の精神的負担を軽減するため今後も継続して欲しい。 ◇目標に対して利用実績がはるかに多いが受け入れは大丈夫か。 ◇利用実績が目標値を上回っている。保護者就労支援に向けて理由制限のないところが効果に繋がっている。 ◇子育て講座、イベント等、保護者同士の繋がりが持てるよう、ネームは必要。	・(8)保健師、訪問指導員等と連携を取りながら引き続きセンターの利用を促す。/おたよりやSNSを使ってセンターの様子、講座の様子や内容など配信する。/母親にもネームを付けてもらう等、保護者同士のつながりがもてる物を用意する。 ・(9)引き続き、提供会員の募集を行う。/提供会員の顔写真を撮り、利用時に安心して預けられるようにする。
子③10	発達支援体制整備事業（職員の研修）	B	B		◇研究・研修を基にした職能向上が図られこどもの成長につながっている。 ◇各事業とも目標に沿った成果・効果が出されており良い。	・(10)来年度の県の研修体制の変更により、町の研修体制の見直しを行う。/研究推進担当者会を実施し、各園の有効な取り組みの共有を図る。 ・(11)必要な予算の確保を図る。
子③11	こども園管理運営事業（施設・設備の整備）	B				
子③12	こども園ICT化事業	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
子③13	魅力ある園づくり推進事業（R5 事業終了）	—			◇職員の研修は実績回数が目標値を大きく上回っている。必要な研修なら目標値の回数設定を見直すべき。 ◇ICT化事業は総務課とも協議して園に合うよう改善を求める。 ◇内部評価がAでない理由は？ ◇保育・教育の質の向上に向けての職員研修は不可欠。職員の意識高揚、充実した保育、教育を提供するために正職員の計画的な増員（含む社会人経験者）を要検討。	・(12)総務課と連携して庁舎職員の使用しなくなったPCを再利用しながら、タブレットの適性数を管理し、必要に応じて予算要求していく。仮想化インターネットを安価で複数台同時に利用できる方法を総務課が検討中。
子④14	放課後児童クラブ委託事業、放課後児童クラブ施設管理事業	B	B		◇概ね目標通りに進めている。 ◇各事業とも目標に沿った結果・効果が出されており良い。	・(14)対象者の精査を実施する。県内の状況を確認しながら、利用料の見直しを検討する。 ・(15)低年齢児の入所を抑制することが目的とした場合→効果がないため継続を含めた検討が必要。/多様な保育への経済的支援を目的とする場合→改善なし。
子④15	在宅育児支援事業	B			◇町として家庭内保育を推奨するのであれば月3万円は少額過ぎるのではないか。	
子④16	乳幼児健康支援一時預かり事業	B			◇目標通り実施できた。	
子④17	休日保育事業	B			◇入所抑制にするには3万円では不十分のため目的がどちらなのかによっては廃止を検討しては。 ◇放課後児童クラブの充実（居場所づくり含む）を図るために人的・物的環境の充実。	
子⑤18	こども園管理運営事業（北栄町同日公開参観日）	B	B		○性教育に関わる事業に対し、保護者・児童生徒間で踏み込みにくい抵抗感があるのでは、個別案件は学校支援事業で検討さ	・(19) 生きるための心の教育：次年度5カ年評価の年なので、今後の在り方について学校と協議をしていく。笑育講座：講座以外

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
子⑤19	親育ち事業	C		C	れているか。 ○評価指標を下回っていることに加え、事業の効果をどのように判断するのか。 ○「生きるための心の教育」の必要性はある。 ○目に見えた結果を１年で出すことは難しい事業。今後を見越してつながることでの評価はしにくいが取り上げていく事業としては必要である。 ◇今後もさらに家庭教育への働きかけを検討したい。 ◇親育ち事業は対象者と取り組み内容が整合しているのか不明。事業目的と取り組み内容の整合性について検討すべき。 ◇親育ち事業の目的はこれで合っているのか。保護者への押しつけになって負担感はないのか。保護者への寄り添い方について何か改善策はないのか検討して欲しい。 ◇(18)一般の参観者数は？（保護者以外で園や学校に普段から関わっていない方の参観が少ないなら多子世帯には負担の可能性はないのか） ◇地域に開かれた園経営を行う上で一日公開保育は意義がある。同日実施されたアンケート等について慎重に審議し改善に役立て園経営に活かすことが重要。	に子どもへの肯定的な関わりについて学ぶ機会を検討する。

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント (○) 教育委員のコメント (◇)	成果や課題、今後の方向性 ※ (事業番号)
		事務局	委員会	外部		
教①20	事務局関係負担金事業 (少人数学級)	B	B		○講師参加者が目標が大きく上回っていることは、地域で子どもを支える体制づくりが進んでいると思う。一方で児童参加者が目標を下回り年々減少傾向であることに對しての対策が必要。 ○講師が充足しているのであれば学習拠点を自治公民館等を利用して複数設けてはどうか。 ◇教科における少人数指導については一定の成果を見ることができている。 ◇学力検査については結果の活用につて課題がある。	・ (21)取組で明らかになったことを学校・園と共有し、保護者や児童生徒に示し、自校・自園の課題解決に向けた自主的な取組に反映させていくとともに、幼児期から学力の下支えとなる生活習慣の改善として位置づけた取り組みを推奨していく。 ・ (25)コミュニティスクールを活用し、各校区で中学生のボランティアを募り、講師確保の一助とする。 ・ (26)引き続き周知を行う。
教①21	教育力向上事業 (学び力向上アクション週間の取組み)	B			◇学び力向上アクション週間事業自体は悪いことではないが、町・学校が主導しているように感じる。本来は保護者と子どもたちが家庭で過ごす生活習慣について見直すための機会と考える。よって各家庭で考え保護者が主導する形へ移行するのが望ましい。	
教①22	教育力向上事業 (授業研究事業 (講師招へい、視察))	B			◇サマースクールの5日間は必ず通わないといけないものか。後半することがなく集中が切れたと課題にもあったが、期間を短くするなど検討すべき。高校や中学生のボランティアは素晴らしい。	
教①23	教育力向上事業 (学力検査の実施)	B			◇児童、生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導・支援の充実に向けて本町は他市町に比べ町予算を投入し町講師等の増員配置は効果大である。	
教①24	GIGA スクール構想整備事業	B				
教①25	教育力向上事業 (サマースクール)	B		B		
教①26	高校生等通学費助成事業	A				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント (○) 教育委員のコメント (◇)	成果や課題、今後の方向性 ※ (事業番号)
		事務局	委員会	外部		
					◇児童、生徒の学力向上は教師の授業力・指導力に支えられている。授業研究会を核とし指導力向上の取り組みは不可欠。また中部教育局のみならず、各校の研究拠点に応じた講師招聘が求められる。 ◇小学生の学習習慣定着を図るためのサマースクールの実施は他市町にない取り組みで効果大。	
教②27	職場体験学習 (ワクワク北条、ワクワク大栄)	B	B		○児童生徒の問題行動対策であれば、親育ち事業と目的が重複しているのでは。事業を一本化したほうが効果的ではないか。とても重要な事業と思う。 ○ケース会議の参加数が増えていることは、事案が増えているということか。そうであれば不登校の率も増加する可能性がある。 ○粘り強く取り組まなければならないが、問題行動の背景の分析が必要では。 ○SSWが2名体制となり、情報共有、検討が丁寧にできるようになったが、実績として小学校の不登校出現率が評価指標を上回った原因と対策により次年度に繋げて欲しい。 ◇多様な児童生徒の実態への対応が進んだ。 ◇生き方を学ぶ講演会が開催できない理由を調査すべき。行事が密で実施不可であるのなら等事業休止も検討すべき。例えばオンラインを利用し2校同時に講演会を開くという方法はとれないか。	・(28)いじめをなくそうサミットの内容見直しを検討する。 ・(30) 年度当初に各校に周知及び確認し、計画的に実施するよう促す。 ・(32) 検査後、児童生徒に早期対応できるよう、これまでの紙ベースの調査から Web 実施の調査へ切り替える。 ・(33) アセスメントの活用をさらに促す。不登校児童生徒の未然防止、早期対応につながる SSW の関わり方を明確にしていく。
教②28	教育力向上事業 (いじめ対策事業)	B				
教②29	中学校管理事業 (中学校での心の教室相談事業)	B				
教②30	教育力向上事業 (生き方を学ぶ講演会)	C				
教②31	教育力向上事業 (特色ある学校づくり推進事業) (R5 事業終了)	—				
教②32	教育力向上事業 (より良い学校生活を送るためのハイパーQU 調査)	B				
教②33	学校支援地域事業 (SSW の活用)	B		B		
教②34	フリースクール利用料軽減事業	A				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
					◇小学校にも中学校と同様の心の教室を設置してはどうか。 ◇SSWにはとても期待している。 ◇(28)参加者は満足度が高いが一部の児童生徒に限られた経験になってしまう。本当に届いて欲しい当事者へ届かせるための方策検討が必要。 ◇(30)小学校が実施できなかったのはなぜか？ ◇キャリア教育の一環としての職場体験は地域住民との関りの中で自分自身の将来を考えたり今の生き方を考えたりするのに効果大。 ◇いじめをなくす様々な取り組みは子どもたち自身が主体的に行動化できることが重要。アンケート結果を活かした話し合いがポイントであり効果が上がっていると考える。	
教③35	給食費事業（食育推進、地産地消の推進）	C	B		◇物価高騰の中、地産地消の重要性について子どもたちに考えさせたい。 ◇部活動の地域移行はできることを確実に進めていきたい。 ◇地産地消率が目標値に対して結果が出ていない。 ◇部活動推進事業は少しずつ効果を上げているので継続して欲しい。 ◇(35)地産地消が望ましいのは分かるが給食費高騰との兼ね合いもあり指標としての設定値を考えたほうがよいのでは。 ◇中間評価から改善された理由は？ ◇児童生徒の健全育成に食育指導推進は重要。地元食材を取り入れた献立はとても	・(35)地産地消への理解（周知）について、より効果的な方法で実施できるよう検討する。 ・(36)年度当初に部活動指導員配置事業の目的を再確認し、単独指導を促す。また、他地域の好事例を実践に取り入れる。/地域連携を進めるとともに、拠点校部活動など可能な取り組みを進めていく。
教③36	中学校管理事業（部活動推進事業）	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
					良い。 ◇健やかな体を育てる教育の推進に部活動の意義は大きい。教師の働き方改革に向け外部指導者の配置は効果あり。同時に教職員自身の意識改革も求められる。	
教④37	教育力向上事業（向ヶ丘レインボープラン・ドリームプロジェクトX）	B	B		◇概ね目標通り。CSの取り組みとも相まって連携が進んでいる。 ◇小中高生が熟議したイベントを子どもたちに運営させる行事を検討してはどうか。 ◇活動を工夫して新たな交流事業ができたなど効果があった。 ◇連続性のある学びを図るため保・子小中高連携は重要。絵本の読み聞かせ、新入生説明会での生徒会と6年生交流、幼少連携の交流事業は効果が大きい。また園児への小学生読み聞かせは、双方に効果が大きいので要検討。	・(37)これまでのやり方にこだわらず、できることや新しい交流を模索する。
教⑤38	幼児通級指導教室設置事業	B	A		◇通級指導はそれぞれの目指すところとアプローチが明確であり成果を上げている。	・(38) 幼児通級で支援を受ける子どものレベルを園に周知していくとともに、対象児の実態把握を確実に行う。 ・(39) 入級段階で2年間の在籍期間を保護者と確認しておくこと及び保護者支援としてSCと連携していく。
教⑤39	言語通級指導教室事業・発達通級指導教室事業	A			◇効果・成果が向上している要因は保護者との良好な関係構築と考える。今後も引き続き保護者支援をお願いしたい。 ◇目標通り実施されている。さらなる充実を期待する。 ◇(38)研修への参加人数の目標値が極端に少ないのはなぜか。 ◇自分に合った学び方を通して分かる喜びやできた喜びの実体験は、教育活動の大切な基礎となる。通級指導、ことばの教室	

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
					等の指導は効果を上げている。また本町は町講師配置等充実しており効果が大きい。 ◇児童生徒の指導、支援と同時に保護者支援が重要なポイントになるので徹底する必要がある。	
教⑥40	小学校外国語教育活動事業	B			○参加者が減少している原因が、この事業が児童生徒、保護者にとって必要性を感じていないのか、英検に対して取得に必要性を感じていないのか、ヒアリングしてはどうか。	・(40) 小・中学校相互の学習内容の共有と共通理解をより深めていく。 ・(41) 業者派遣としたことで、生活支援に関する教員の負担は軽減された。これにより、より一層小中学校同士、また中学校での授業での活用について専念してもらう。 ・(42) 英検助成の申請が減っている理由が受験会場の認知不足からくる受験者の減少によるものなのか、把握する。
教⑥41	外国青年招致事業（ALT、外国語講師の活用）	B			○評価指標すべてを下回った。保護者は、児童生徒がこの事業に必要性を感じているのかヒアリングしてはどうか。	
教⑥42	教育力向上事業（イングリッシュスクール、英検助成）	C		C	○英語力＝検定費用の助成という視点ではニーズがない。 ◇英語に限らず教科書等への意欲を高める施策の研究が必要 ◇外国籍の人たちをよく見かけるようになった。小学生の間は、話す・聞くの会話のみの授業構成にしてはどうか。 ◇常時学校に外国籍の先生がいるだけで生徒・児童には刺激になる。 ◇英検助成は補助が必要なのか疑問。廃止を検討してもいいのではないか。 ◇(42)学校で受験できなくなり気軽に受験できなくなった。会場が校外になり、実際に受験者が少ないのか助成金の存在を知らないのかが分かりにくくなってはいないか。 ◇A L T、外国語指導員により表情豊かな生きた英語を学び他国の文化を学ぶこと	

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント (○) 教育委員のコメント (◇)	成果や課題、今後の方向性 ※ (事業番号)
		事務局	委員会	外部		
					は効果がある。 ◇イングリッシュスクールは参加目標を下回っているものの、継続することにより効果を期待したい。	
教⑦43	コミュニティスクール推進体制構築事業	B	B		○取り組み後 15 年近く取り組まれているが家庭教育 12 か条というフレーズは認知されていても内容までは認知されていない。思い切った見直しが必要では。 ○保護者・子どもの声をアンケートすると結果が分かりやすい。 ○必要な事業との声はなかなか聞かれない。 ◇C S で県レベルでの実践発表の要請を受けるなど、地域と連携したこどもの活動や地域でのこどもの活動が充実してきている。 ◇C S の活動は周知されつつあると感じるが、協力者が固定化されているようにも感じられる。活動への参加 P R や体験参加などで敷居を下げる工夫をしてはどうか。 ◇町放送の朝の元気配達便は生活スタイルが変化している中、放送時間を変更する検討をしてはどうか。 ◇自分の周りでは子どもたちを地域で見守るというムードが高まっている。 ◇家庭教育 1 2 か条は必要であれば印刷して全戸に配布するなど改善すべき。広報誌にも載っていない。 ◇(44)北条・大栄で偏りは？オンラインのノウハウや機材負担は？	・(43)年度当初に民生委員、保護者への説明を引き続き行う。年間活動計画のほか、活動の様子を HP で紹介する。 ・(44)引き続き、事業周知を図る。 ・(45)アンケート結果を生かした取り組みを、各校で実施する。 ・(46) 家庭教育 1 2 か条の刷新に向け、他市町村の取り組み状況も参考に、今後のあり方を検討する。
教⑦44	教育力向上事業（地域でこどもを育てる体験活動）	A				
教⑦45	事務局事業（北栄町同日公開参観日）	A				
教⑦46	社会教育推進事業（家庭教育 12 か条）	C		C		
教⑦47	子どもほくえい塾事業	A				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント (○) 教育委員のコメント (◇)	成果や課題、今後の方向性 ※ (事業番号)
		事務局	委員会	外部		
					◇(45)一般参加者数は？(参観時間が暗に固定されると参観しにくい家庭がある) ◇(46)このまま取り組むのであれば毎月マチコミ本文で告知したらどうか。 ◇子どもは家庭で育ち、学校で学び、地域で伸びるといわれる。子どもを中心として三者がしっかり連携し、CS・自治公民館活動・学校公開・子ども北栄塾の取り組みは効果を上げている。 ◇家庭12か条の周知方法として朝の元気配達便は効果があった。	
教⑧48	小中学校管理事業(大規模改造・長寿命化改修)	B	B		◇目標通り ◇温暖化が進んでいる中、既存の冷房施設だけで教室内の温度調節が可能か早急に検討すべき。 ◇子どもたちが安心安全な学校生活を送るには教育施設の環境整備は不可欠である。大規模改修工事等多大予算が必要だが計画的になされとても良い。	
住①49	人権啓発活動事業	B	B		○人権問題の範囲が広くなり、取り組みが難しくなっているが、人権を守る学習と他人に対する思いやり、やさしさを育む学習も併せて行ってほしい。 ○人権学習は知識取得の必要性がある。 ○ネット社会により現実的平等による学校	・(49)3 町連携 TCC 人権啓発番組の放送など効果的な広報・周知を実施する。 ・(50)ボランティア登録者との SNS を活用した情報発信・共有を行う。/児童の健全育成をより推進するため、児童厚生員に関する各種研修等へ参加する。
住①50	児童館運営事業	B				
住①51	人権を学ぶ会事業	B				
住①52	人権学習会事業	B		B		

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
住①53	隣保館運営事業	B			指導もあり、人権とはの視点を理解していくと、ネット上の問題にもつながるなど、何かしら連動している。 ◇概ね目標通りであり、人権に関する施策への理解もあるが、啓発の活動は継続していかなければならない。 ◇人権に対する考え方は人それぞれ。人権を学ぶ機会が提供できていれば良いと考える。 ◇人権を学ぶ事業では未実施自治会に対して実施できるよう求めてほしい。 ◇人権学習事業での改善はまだ結果は不明だがまた一歩前進して良いと思う。 ◇(49)フェスティバルの参加人数が少ないのか目標が高すぎるのか。 ◇(51)40代までの世代は別の機会でも人権学習に触れている人も多いのでは？ ◇(52)そもそも実施校の目標数は2校でよかった事業なのか。 ◇SDGs を目指すためにボランティアを登録し事業実施され効果が出ている。 ◇様々な個別の人権問題を地区推進委員会を中心に、仕掛けは行政であっても自治体が主体的に実施することは、誰もが住みやすい地域づくりに向けての効果が大きい。 ◇町民の人権意識を高めるための各種事業の取り組みは他市町に比べ充実している。 ◇人権学習会は学校教職員の指導から地域住民の指導を中心にするを要検討。	・(51) 数年間未実施の自治体に対しては、個別にアプローチし、開催に向けた手厚いフォローを行う。/人権教育推進協力員会議を活用し、教材テーマの選定や、学習のねらいの明確化などの改善を図る。 ・(52) 内容の刷新、早期の実施予告や参加者募集。現在参加者への継続参加への声かけ/町主体の学習内容の体系的な実施と充実、学校との情報共有を行う。 ・(53) 分かりやすいじんけんの話などの人権啓発活動の推進、事業所連携、他課連携、利用者の意見を反映させ、積極的な情報発信を図る。/小中学校の訪問学習など学校との連携強化を図る。

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント (○) 教育委員のコメント (◇)	成果や課題、今後の方向性 ※ (事業番号)
		事務局	委員会	外部		
住②54	通学路安全対策事業	B	—	B	◇目標通り ◇見守りボランティアは自治会長会以外に各子ども会、CSなどの他の組織など幅広く広報してはどうか。 ◇見守りボランティア登録者数が目標に達し大幅に増えたのが良い。 ◇あいさつ運動運動推進事業は新規登録がゼロだったが、他市町の様子を参考にするなど改善すべき。 ◇小学生について、朝は登校班で行き、あいさつ当番の地域の方の目も多い中での登校だが、下校時はひとりで歩く子どもも少ないので、対策ができると良いが。特に冬季はバス区域が増え、歩く児童が減る傾向にある。 ◇子どもたちが安心安全に登下校するために地域の方々の見守り隊はとても有効であり広げたい。 ◇通学路の安全点検等、保護者・地域住民が主体となり実施し、行政と協議し徹底したい。	・(54)継続的に見守り活動についての周知を行う。
住②55	児童自転車用ヘルメット着用推進事業 (R 5 事業終了)	—				
住③56	通学合宿事業 (R 5 事業終了)	—	C	C	◇青少年育成町民会議については、会の存在意義を問いなおす時期かもしれない。住民が主体となった新規事業の掘り起こしを求める。 ◇青少年育成町民会議の活動について精査・検討する必要あり。 ◇成人式事業は事務局主導が良いと考え	・(57) 会員を運営するのに相応しい定数にする。あいさつ運動推進事業所は現状で相当な数の事業所に協力いただいていて新規登録は困難。 ・(58) 新成人が決めることと事務局が決めることをわけ、円滑かつ魅力的な式典の開催に努める。
住③57	青少年育成町民会議交付金事業	C				
住③58	成人式事業	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
					る。 ◇青少年育成町民会議交付金事業は廃止してもいいのではないか。 ◇成人式事業は実行委員に司会進行を任せるなど、もう少し関わることを検討すべき。 ◇(57)推進事業所はかなりの数があるのになぜその増を指標にする必要があったのか。会員は多数おり活動の場が少ないのに協力者が少ないということであれば、活動内容はそれでよいのか。 ◇(58)新成人は学生が多く県内在住者が少ない。そもそも式典の予算では？ ◇青少年健全育成事業（あいさつ運動、見守りパトロール等）については地道に啓発し事業継続したい。 ◇成人式は一生に一度の思いで事業、運営、内容決定についてすみわけし、実行委員会と事務局が連携し魅力ある事業としたい。	
住④59	社会教育団体活動費補助金事業	B	B		○小学生から高齢者までの居場所として十分機能していると思う。 ○事業は予定通りなされているが、講座の利用者の新規開拓が必要。 ○大栄分館が新築されるが、利用者の希望に沿った施設となるよう希望する。（公民館講座の作品発表の展示場） ○予定通り実施できている事が素晴らしい。 ○お誘い周知など努力されているのがみられる。	・(59)当該補助金の一部廃止検討。 ・(60) 目標人数が適切かであるか考察する必要あり。ほとんどの利用がいきいきサロンであり、出前講座を利用しなくてもいきいきサロン運営されていることも考慮が必要。 ・(61)自主的なイベントの開催を促すなど、従来の公民館利用にとどまらない企画を行う。 ・(62)より見やすい募集チラシを作成する。/ 町報、HP での PR を行う。
住④60	社会教育推進事業（出前講座・おとなほくえい塾）	B				
住④61	公民館運営事業	B				
住④62	公民館講座事業	B		B		
住④63	ほくえい未来ラボ事業	B				
住④64	展示・鑑賞・発表経費事業	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
住④65	成果還元活動事業	B			◇現行の事業については成果を上げていると感じている。様々な世代にニーズの掘り起こしを進めたい。 ◇公民館講座事業は開催回数が評価指数となっているが参加人数も評価対象とすべきと考える。 ◇6年度のほくえい未来ラボは学生の意見が聞けてとても良かった。 ◇ほくえい未来ラボ事業は研究員の集め方がだんだんと難しくなるのではないか。意欲的な町民や職員をどう見つけてくるのか、今のやり方でいいのか検討すべき。 ◇「北栄ふるさとかるた」を活用してほしい。 ◇(59)受けられる補助金の額では講師のグレードを大きく上げるほどのことはできなかった。 ◇(61)20～40代のニーズ調査（利用が必要な機会があるか） ◇各自治体が主体となって事業内容等工夫したいいききサロンになり、効果が広がっている。 ◇公民館講座事業として成人対象講座、青少年育成講座、シニアクラブ等のニーズに応じた様々な事業が展開され効果が大きい。	・(63)行政課題目線だけではなく、町民に興味のあるテーマを設定する。/テーマの関係課へ参加要請する。 ・(64)出品者への個別の声掛けを行う。 ・(65)声掛けを行う。事業所から問い合わせがあった際には、積極的に文化教室を紹介する。
住⑤66	保健体育振興事業（スポーツ県外派遣費補助事業）	B	B		○内部評価がAとなっているが、元旦マラソンが大部分であり、来年スイカウオークも無くなれば改めて内容の見直しが必要。もっと地域を知るようなコース作りを期待する。 ○元旦マラソン、ウォークキングの魅力	・(66)周知については、多様な媒体を使っての周知に努める。また、学校等と連携を取り、活用してもらえるようにしていく。補助金については、申請の簡略化等を盛り込んで、要綱改正についても検討していく。 ・(67)町内文化財等を巡り知っていただくこ
住⑤67	ウォーキングのまち北栄町推進事業	A		A		
住⑤68	北栄スポーツクラブ事業	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
住⑤69	訪問型ニュースポーツ体験事業	B			は？明らかにニーズがあることが理解できる。 ◇文化活動の継承や新規立ち上げが課題。 ◇D評価事業は積極的に休止を検討すべき。 ◇コナン人気のすいかながいのマラソンはもっと大きな大会にできる可能性がある。運営の外部協力等検証し、北栄町の一大イベントに発展できないか検討すべき。 ◇(67)すいかウォーク廃止の理由は？代替えは必要なのか。（ウォーキングのまち） ◇芸術文化活動の促進事業は廃止を検討してはどうでしょうか。 ◇(74)ニーズの確認が必要。 ◇すいかながいの健康マラソンは全国各地から参加があり本町を全国に知らせ、事業目的を達成している。参加者は十分な健康管理を徹底。 ◇民芸実習館事業である陶芸教室、木竹教室、木版画、水墨画教室等、地域住民の生涯学習の場として大いに効果が上がっている。	とと体力づくりを兼ねた2回のウォーキング大会を計画する。 ・(68)町とスポーツクラブが連携し、積極的なPRを行う。また、スポーツ大会、運動教室等の実施、安心して利用できるスポーツ施設の管理に努める。 ・(69)申し込みを早めにしていただき、早い段階から推進委員の日程調整を行うことにより、推進委員の負担軽減を図る。 ・(70)熱中症対策と、スタート時間の検討を行い、少しでも熱中症のリスクを軽減する運営を考える。また、中部の旅館等に注意書きの配布を検討する。 ・(71)児童生徒に鑑賞の機会を提供するため、他の団体が行うメニューも学校に情報提供する。 ・(72)(74)事業内容の精査が必要。 ・(75)新聞の文芸欄や他の文芸誌に投稿されている方に声をかける。 ・(76)より見やすい募集チラシを作成する。/公民館まつりでの作品展示など、機会を捉えて講座のPRを行う。 ・(77)活動を支援し、新たな会員を増やす取り組みに協力する。/公民館まつり時にワークショップを行い、地域の人に活動を知ってもらう。
住⑤70	すいか・ながいも健康マラソン大会事業	B				
住⑤71	青少年劇場巡回公演委託事業	B				
住⑤72	芸術文化活動促進事業	D				
住⑤73	北栄文化回廊事業	B				
住⑤74	文化財保護対策事業（民俗芸能伝承事業）	D				
住⑤75	北栄文芸編集・発刊事業	A				
住⑤76	民芸実習館事業	B	B		○目標数に達していないが改善に向けて工夫をしていると思う。 ○絵本でつながるという目的のニーズがなかなかないこと。	・(78)わかりやすく、リピーターを飽きさせない書棚づくりを意識し、改善する。/貸出状況、ニーズを分析し、新鮮な資料の維持に努める。
住⑤77	町文化団体協議会補助金事業	B				
住⑥78	図書館運営事業	B				
住⑥79	図書館運営事業（図書館講座・教室事業）	B				
住⑥80	図書館魅力化事業	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
住⑥81	絵本でつながるまちづくり事業	C		B	○図書館を利用してもらう工夫の必要性からの絵本とのふれあい。 ○全国で図書館カフェ、学べる場所など図書館とは、の概念を崩していく必要あり。 ◇利用者傾向や貸し出し傾向、レファレンスの内容等の分析を行い事業の目的をさらに明確にしながら町の図書館としてあるべき形を求めている。 ◇昭和感覚の図書館から令和感覚の図書館へ移行しようと努力が感じられる。もっとはじめても良いと感じる。 ◇参加者の少ない事業は需要が無いと捉え積極的休止も検討すべき。 ◇あたまイキイキ音読教室に「北栄ふるさとかるた」も活用してほしい。 ◇来館して本のことを尋ねると職員の方が親切丁寧に（県立図書館へも連絡）対応していただいた。 ◇図書館魅力化事業として地域と繋がる図書館、居心地の良い図書館に向けて各種事業の取り組みを期待したい。	・(79) 広報の充実（館内音読教室：毎回、次回日程周知、TCC 等広報媒体の拡充、使用資料の紹介等） ・(80) 広報の早めの発信と拡充を行う。/ 来年度、夢の図書館プロジェクトメンバーを公募し、メンバーの拡充と持続可能な方策を講じる。 ・(81) おはなし会参加者を対象としたスタンプリングを計画し、おはなし会への参加や図書館来館促進を図る。/ マタニティ・ファーストブックやキッズコーナーの広報拡充（広報タイミング、プレゼント本周知）/ 子育て関係部署と連携して効率的かつ効果的な事業運営を行う。
住⑦82	地域副読本作成活用事業	B	B		◇地域副読本はデジタル化し情報量の制限の緩和や柔軟な改定に対応できるようにしたい。 ◇地域副読本は部数を限定し学校図書館でPRする方向で効果を検証してはどうか。 ◇中学生と町長が語る会の生徒アンケートにおいて肯定的評価が低かった理由を調査・検討すべき。	・(82) 長期休暇などで自由に閲覧できるように電子化して町 HP で掲載する方法を検討する。ただし、内容検討が必要なため改訂時に具体化を実施したい。 ・(83) 企画展ごとに来てほしい年齢層等を考慮して周知方法を検討する。 ・(84) 文化財の継続的な整理作業の実施と、文化財紹介による周知や保護意識の醸成を図る。
住⑦83	歴史民俗資料館（北栄みらい伝承館）展示事業	B				
住⑦84	文化財保護対策事業	B				
住⑦85	町内遺跡発掘調査事業	B				
住⑦86	ウォーキングのまち北栄町推進事業（歴史探訪ウォーク）	B				

区分	事業名	評 価			外部評価委員のコメント（○） 教育委員のコメント（◇）	成果や課題、今後の方向性 ※（事業番号）
		事務局	委員会	外部		
住⑦87	中学校教育振興事業（中学生と町長が語る会）	C			◇「北栄ふるさとかるた」も活用して欲しい。使える資源は製作部署を超えて活用すべき。 ◇歴史民俗資料館展示事業のギャラリートークや講演会はより内容が分かり効果があった。 ◇(82)自学での活用をすすめるなど、授業以外で利用する機会を促すことはしないのか。 ◇(83)思い切って県道沿いに目立つ看板を立てる。道の駅にポスターを貼るなど広報の充実が必要。 ◇(86)昨年同程度の申し込みに対し実績が目標未達の理由は？ ◇(87)2校で実施方法が違うためそれぞれのアンケート結果が知りたかった。肯定的でない理由は実施方法によるものなのか、各校のパーセンテージに差があるのかによる。 ◇地域副読本は検定教科書にはない教材であり、児童・生徒の郷土愛を培うのに大変効果的である。 ◇文化財保護対策事業として歴史探訪ウォーク、茶臼山白探訪は本町の文化財を知り守るために大変有効であった。	・(85)文化専門員の指導の下、知識、技術を身に付けていく。/複数人で知識を共有できるようにする。 ・(87)無理なく事業が継続できる形を模索する。

IV 委員及び活動の詳細

1 教育委員・教育長

(1) 在任状況

職 名	氏 名	就任年月日	任 期	保護者	備考
教育長	笠見 隆志	R5.4.2	R9.3.31		
教育長職務代理者	徳岡 幸裕	H29.11.15	R7.11.14		
委員	竹信 純一	R3.4.1	R6.11.14		
委員	岡崎しづみ	R4.11.15	R8.11.14		
委員	津島 望	R5.11.15	R9.11.14	○	
委員	西川 健治	R6.11.15	R10.11.14		

(2) 委員の異動

教育長及び委員4名の体制でスタートしました。任期満了を迎えた笠見隆志教育長が再任され、同じく任期満了を迎えて退任した竹信純一委員の後任として、西川健治委員が新たに就任しました。

2 教育委員会等の会議の詳細（令和6年度中）

(1) 委員会の開催状況

①第4回定例会（4月30日）

議案第22号 北栄町フリースクール利用料助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第23号 北栄町出産・子育て応援給付金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第24号 小中学校主任等の任命について

議案第25号 北栄町スポーツ推進審議会委員の任命について

議案第26号 北栄町教育行政評価委員の委嘱について

議案第27号 北栄町部活動のあり方検討委員の委嘱について

議案第28号 こども園評議員の委嘱について

議案第29号 北栄町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第30号 北栄町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

議案第31号 北栄町隣保館運営審議会委員及び北栄町児童館運営委員会委員の委嘱について（当日取り下げ）

議案第32号 鳥取県中部地区教科用図書採択協議会の北栄町教育委員会が選出する採択協議会委員の承認について

議案第33号 北栄町学校業務カイゼンプランの策定について

協議事項 令和6年度 こども園・小・中学校計画訪問について
第10回北栄町いじめをなくそうサミットについて
北栄町環境審議会委員の推薦について

②第5回定例会（5月28日）

議案第34号 北栄町外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則の制定について
議案第35号 北栄町ひとり親家庭等模擬試験費用助成金交付要綱の制定について
議案第36号 北栄町子育て世帯訪問支援事業実施要綱の制定について
議案第37号 北栄町病児・病後児保育事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第38号 北栄町養育支援訪問事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
協議事項 令和5年度教育行政評価の教育委員会評価について

③第6回定例会（6月26日）

議案 なし
協議事項 令和6年度教育委員視察研修について

④第7回定例会（7月30日）

議案第39号 北栄町地域で子どもを育てる体験活動支援補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第40号 人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求めることについて
協議事項 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果公表等について
令和6年度教育委員視察研修について

⑤第8回定例会（8月27日）

議案第41号 令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択について
議案第42号 北栄町スポーツ・文化芸術全国大会等県外派遣費補助金交付要綱の全部を改正する要綱の制定について
議案第43号 北栄町指定史跡の現状変更の許可について
協議事項 北栄町民生委員推薦会委員の推薦について

⑥第9回定例会（9月25日）

議案 なし
協議事項 北栄町観光施設指定管理候補者審査委員会委員の推薦について

⑦第10回定例会（10月29日）

議案第44号 教育委員会事務局職員の人事（出向）について
議案第45号 人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求めることについて

議案第46号 北栄町北条歴史民俗資料館の臨時開館について
議案第47号 北栄町北条歴史民俗資料館の臨時閉館について
協議事項 なし

⑧第11回定例会（11月26日）

議案第48号 指定管理者の指定の議会提案に係る意見を求めることについて（社会体育施設及びB＆G海洋センター）
議案第49号 指定管理者の指定の議会提案に係る意見を求めることについて（北栄町中央公民館大栄分館）
協議事項 北栄町人権教育・啓発推進協議会理事の推薦について

⑨第12回定例会（12月24日）

議案 なし
協議事項 大谷こども園のあり方について

⑩第1回定例会（1月28日）

議案第1号 北栄町教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の一部を改正する規則等の制定について
議案第2号 教育財産の用途廃止について
議案第3号 北栄町社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の議会提案に係る意見を求めることについて
議案第4号 北栄町社会体育施設管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
議案第5号 北栄町社会教育委員及び北栄町公民館運営審議会委員の委嘱について
協議事項 令和7年度教育委員会予算編成方針及び重点項目について
児童生徒表彰の内申について
北栄町名誉町民選考審議会委員の推薦について
令和6年度卒業証書授与式及び令和7年度入学式の出席について

⑪第2回定例会（2月26日）

議案第6号 令和7年度教育委員会関係予算に対する意見について
議案第7号 第3期北栄町子ども・子育て支援事業計画策定の議会提案に係る意見を求めることについて
議案第8号 北栄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の議会提案に係る意見を求めることについて
議案第9号 北栄町子育て世帯訪問支援事業実施要綱の一部を改正する要綱について
議案第10号 北栄町ひとり親家庭児童小学校及び中学校入学支度金支給要綱の廃止について
議案第11号 北栄町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

協議事項 なし

⑫第1回臨時会（3月11日）

議案第12号 令和6年度末教職員人事異動内申について

協議事項 なし

⑬第2回臨時会（3月21日）

議案第13号 教育委員会事務局職員の人事（出向）について

議案第14号 教育委員会事務局職員の任命について

協議事項 なし

⑭第3回定例会（3月26日）

議案第15号 令和7年度北栄町立小学校及び中学校の学級編成基準について

議案第16号 北栄町要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助費支給に関する規則の一部を改正する規則の制定について

議案第17号 北栄町学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について

議案第18号 北栄町産後ケア事業実施要綱の一部改正について

議案第19号 北栄町病児・病後児保育事業実施要綱の一部改正について

議案第20号 北栄町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則を廃止する規則等の制定について

議案第21号 校外活動引率教職員活動費補助金交付要綱を廃止する要綱の制定について

議案第22号 北栄町学校教育研究協議会補助金交付要綱を廃止する要綱の制定について

議案第23号 北栄町自転車用ヘルメット購入費補助金交付要綱を廃止する要綱の制定について

議案第24号 北栄町スポーツ・文化芸術全国大会等出場奨励金交付要綱の取り下げについて

議案第25号 北栄町スポーツ・文化芸術全国大会等出場奨励金交付要綱の制定について

議案第26号 北栄町地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について

議案第27号 北栄町文化財保護事業補助金交付要綱の制定について

議案第28号 令和7年度こども園、小学校及び中学校医の委嘱について

議案第29号 北栄町中学校区学校運営協議会委員の任命について

議案第30号 北栄町スポーツ推進委員の委嘱について

議案第31号 北栄町図書館の臨時開館について

協議事項 なし

（2）総合教育会議の開催状況

①第1回総合教育会議（6月26日）

議 題 ・コミュニティスクールの現状と今後について

- ・校内教育支援センターについて

②第2回総合教育会議（12月24日）

- 議 題 ・不登校について
・大谷こども園について

（３）視察、研修等の参加状況

- ・東伯地区教育委員会連絡協議会定期総会 令和 6 年 5 月 29 日
- ・東伯地区・倉吉市教育委員会合同研修会 令和 6 年 5 月 29 日
- ・鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会・研究大会 令和 6 年 7 月 10 日
- ・教育委員県外視察研修（岡山県浅口市） 令和 6 年 11 月 28 日
- ・市町村教育委員会委員研修会 令和 7 年 2 月 1 日

（４）意見交換会・計画訪問・諸行事への参加状況

①計画訪問

園・学校	前期	後期
北条こども園	5 月 29 日	10 月 28 日
大誠こども園	5 月 31 日	10 月 17 日
由良こども園	5 月 16 日	10 月 18 日
大谷こども園	5 月 28 日	10 月 31 日
北条小学校	6 月 21 日	11 月 6 日
大栄小学校	6 月 6 日	10 月 8 日
北条中学校	6 月 18 日	10 月 22 日
大栄中学校	6 月 19 日	10 月 23 日

②諸行事への参加

R6.4 月	11 日：小・中学校(4 校)入学式
R6.5 月	18 日：北条小学校運動会、25 日：大栄小学校運動会
R6.6 月	14 日：全校・園同日公開参観日、16 日：すいか・ながいも健康マラソン大会
R6.8 月	19 日：いじめをなくそうサミット
R6.9 月	14 日：北条・大栄中学校運動会、28 日：由良こども園運動会、21 日：大誠こども園運動会、21 日：大谷こども園運動会
R6.10 月	5 日：北条こども園運動会、16 日：同日公開参観日（大栄地区）、18 日：北条小学校学習発表会、23 日：大栄小学校学習発表会
R6.11 月	2 日：北条・大栄中学校文化祭、3 日～15 日：北栄町美術展、15 日：同日公開参観日（北条地区）、28 日：北条こども園生活発表会（0,1 歳児）

R6.12 月	7 日：じんけんフェスティバル、6 日：北条（2 歳以上児）・大谷 こども園生活発表会、13 日：大誠こども園生活発表会、20 日：由 良こども園生活発表会
R7.1 月	3 日：北栄町成人式
R7.3 月	11 日：北条・大栄中学校卒業式、14 日：北条・大栄小学校卒業 式、21 日：こども園（4 園）卒園式